

「やまぐち森林づくり県民税」

県民意見交換会報告書

平成21年9月

山 口 県
森 林 企 画 課

(問い合わせ先)

山口県農林水産部森林企画課流域管理推進班

TEL;083-933-3464 FAX;083-933-3479

E-mail:a17700@pref.yamaguchi.lg.jp

やまぐち森林づくり県民税に関する県民意見交換会について

森林企画課・森林整備課

平成17年度に5年間の期間で導入されたやまぐち森林づくり県民税は、最終年度となる平成21年度に見直しを行うに当たり、これからのあり方について県民の皆様からのご意見をお聞きするため、県下8会場で開催しました。

開催に当たっては、5年間の取り組みの結果を 山口県の森林の現状と課題 県民税導入の経緯 これまでの取り組み 地域での取り組み 税事業の効果を説明し、県民の皆様から多くの意見・提言を頂きました。

1 開催日時、場所

日時		場所
7月13日(月)	13:30～15:30	山口県総合保健会館
7月14日(火)	13:30～15:35	下関総合庁舎
7月15日(水)	13:30～15:30	周南総合庁舎
7月16日(木)	13:30～15:40	宇部総合庁舎
7月17日(金)	13:30～15:30	萩総合庁舎
7月22日(水)	13:30～15:30	柳井総合庁舎
7月23日(木)	13:30～15:40	ルネッサながと
7月24日(金)	13:30～15:30	岩国総合庁舎

2 開催に当たっての周知方法

県ホームページ、記者配布、テレビ放映、県広報紙、市町広報紙、参加者募集リーフレットの配布

3 意見交換会参加者数等

場所	参加者数 (名)	発言者数(名)		意見(件)	
		男	女		
山口県総合保健会館	164	12	9	3	27
下関総合庁舎	115	10	9	1	23
周南総合庁舎	95	8	6	2	18
宇部総合庁舎	156	11	9	2	21
萩総合庁舎	90	11	9	2	22
柳井総合庁舎	101	10	5	5	22
ルネッサながと	83	13	12	1	21
岩国総合庁舎	83	7	6	1	26
計	887	82	65	17	180

やまぐち森林づくり県民税意見交換会での主な意見

開催日時	平成21年7月13日(月曜日)13:30～15:30	会場名	山口
開催場所	山口県総合保健会館2階第1研修室	参加者数	164名
県出席者	《農林水産部》 松永部長、弘中審議監 《税務課》 金子課長 《森林企画課》 吉田課長、江藤調整監 《森林整備課》 松尾課長 《農林事務所》 荒瀬所長		
<p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・荒廃している人工林はどの程度あるのか。(防府市・女性) ・税事業を実施した場合、その回復にはどの程度期間を要するか。(防府市・女性) ・税制度を何年続けるのか。(防府市・女性) ・松食い虫被害を元に戻すには。(防府市・女性) ・多面的機能の低下による災害の具体的事例はあるか。(防府市・男性) ・荒廃森林による災害等を防止するため、国や県で荒廃森林を買い取ったり、知事による改善命令などができないのか。(防府市・男性) ・10年から100年続かなくてはならない、国土の緑を守っていかなければならない。応援する。(山口市・男性) ・県民税のことは知らなかった。周知率はどの程度か。また周知のためにどのような対応をしているのか。(下松市・男性) ・県民税のことはよく解らなかったが、今回の説明でよく解った。(山口市・男性) ・竹繁茂事業で竹林を切っただけでは藪になる。(山口市・男性) ・特定の地区で実施するのではなく、公平な実施を進めてもらいたい。(山口市・男性) ・繁茂竹林整備、植栽をしてもよいか。(山口市・男性) ・里山再生事業を実施しているボランティア等の作業に助成してほしい。(山口市・男性) ・高齢化、過疎化で人工林の手入れが不足している。5年間でやめるべきではない、10年、20年と続けてほしい。(阿東町・男性) ・中山間地域には若い人がいない。里山が荒れている。里山を守るためには、川下の皆さんにも県民税事業に対する理解を頂きたい。(阿東町・男性) ・税額については千円に引き上げてもよいのではないか。(阿東町・男性) ・公益森林整備事業は、保安林を対象外としているが、これを対象にできないか。(阿東町・男性) ・森林による効果は国民が受ける。国の制度として取り組むようにできないか。(阿東町・男性) ・見直しに当たっては、他県の取り組みを参考にして、良い所は取り入れてほしい。(防府市・男性) ・県民税の事業効果を数値評価したことは、評価している。マスコミ等を使ってその周知をもっと図ってほしい。(防府市・男性) ・木材の消費拡大を。木質エネルギー利用。バイオマス発電で木材の有効利用を考えてもらいたい。(防府市・男性) ・竹繁茂対策事業の今までの取り組み状況は。(防府市・男性) ・竹の全伐だけでなく、竹林としての整備や、ボランティア活動などにも県民税で支援をすべきではないか。(防府市・男性) ・他県の税額の状況を教えてほしい。(周南市・女性) ・都市と中山間地域の交流を進めることで、森林づくりへの理解を高めるべき。そういう事業を県民税で取り組めないか。(周南市・女性) ・人工林が荒廃した場合、保水能力が落ちるとされている理由は。(防府市・女性) ・県民税事業地を身近に見ることが出来ない。どこに行けば見られるのか。(防府市・女性) 			

やまぐち森林づくり県民税意見交換会での主な意見

開催日時	平成21年7月14日(火曜日)13:30～15:35	会場名	下関
開催場所	山口県下関総合庁舎別館3階第2会議室	参加者数	115名
県出席者	(農林水産部) 弘中審議監 (税務課) 金子課長 (森林企画課) 江藤調整監、松井主任 (森林整備課) 松尾課長 (農林事務所) 中村所長		
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・人工林と竹繁茂の視点である。自然林の現況に目をむけてほしい。シカの問題もある。山全体に目が向いていない。(下関市・男性) ・森林の荒廃による災害の事例はあるか。(下関市・男性) ・人工林への転換を奨励され、昭和30年頃から植林してきたが、鹿の被害が大変。県民税の導入には賛同するが、鹿対策を今後どう考えるか。(下関市・男性) ・事業業施工地の付加価値が上がるが、公平性は保たれるか。(下関市・男性) ・カズラが自然林を枯らしている。現地を是非見てほしい。(下関市・男性) ・先を見据えた事業として制度継続に賛同する。(下関市・男性) ・経済的にも厳しい時であるので、周知をきちっとやってほしい。(下関市・男性) ・自然林へ回復させ、保水力を保全するための樹種は自生しているものでよいか。(下関市・男性) ・事業評価について詳しく聞きたい。(下関市・男性) ・事業評価の中で雨水のしみ込むスピードはどうなのか。(下関市・男性) ・500円は他県と比べてどうなのか(下関市・男性)。 ・納税者は町中の人、漁業者もいる。こういう説明会を開催してもらうことは大変いいことと思う。行政の方で情報提供することを意識してほしい。(下関市・女性) ・荒廃した人工林はどの程度あるのか。(下関市・女性) ・森林のことはよく知らない。どこに行けば情報があるのか。(下関市・女性) ・今のままでは、人工林が無駄になる。森林税で対応してほしい。(下関市・男性) ・リーフレットの表現をもっと身近なわかりやすい表現にしてほしい。(下関市・男性) ・間伐材の利用を考えてほしい。(下関市・男性) ・竹チッパーの機能が発揮できるような機種を選定してほしい。(下関市・男性) ・農林事務所の竹チッパーが故障している。(下関市・男性) ・竹を全伐した場所で再生竹が生えているが、今後どうするのか。(下関市・男性) ・制度を継続してほしい。(下関市・男性) ・金額を上げてほしい。個人の森林に県民税で整備することへの理解は得られていると思う。(下関市・男性) ・国を挙げて山を守ることを考えてほしい。(下関市・男性) 		

やまぐち森林づくり県民税意見交換会での主な意見

開催日時	平成21年7月15日(水曜日)13:30～15:30	会場名	周南
開催場所	山口県周南総合庁舎7階(702・703)	参加者数	95名
県出席者	(農林水産部) 弘中審議監 (税務課) 金子課長 (森林企画課) 金子主査、松井主任 (森林整備課) 松尾課長 (農林事務所) 権代所長		
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・県民税事業によって山がどう変わったか。5年間、20億では山口県の森林は変わらないのでは。県全体の森林のほんの数パーセントでしかない。今後も事業の継続を望む。(光市・男性) ・木材、竹などの山の資源を森林税を活かして活用できないか。民間がやっては進まない。行政が初期投資してもらいたい。(光市・男性) ・山主が関心を持つよう、エコポイントのような制度を導入してはどうか。(光市・男性) ・やすらぎの森事業施工地で、利用者が増えた。森が人を育むことが実感として理解できた。(周南市・男性) ・森林のもつエネルギーを今は感じていないが、そろそろ限界にきている。県民税事業をもっとPRすべき。(周南市・男性) ・東京、大阪など森林の恩恵を一番受けている所が何もしていない。孫、次の世代にはほとんどないことになる。国策で対応すべきではないか。(周南市・男性) ・CO2吸収源対策等の森林整備は県レベルではないのでは。国レベルの施策が必要。(周南市・男性) ・大分県では薬剤を使ってたち枯らしにして間伐をしていた。費用の面から薬剤を使用したほうが安価ではないか。(周南市・男性) ・森と海は密接な関係にあり、森林の多面的機能の低下が海に影響を与えており、水産資源の保全のためにも広葉樹の造成など森林整備は必要である。(周南市・男性) ・作業道の整備費用を必要経費として税控除してもらえないか。(周南市・男性) ・きらら物産フェアで普及・啓発の展示をしているか。目立ちにくい。わかりやすいようにしてほしい。(周南市・女性) ・税はいつ、どのように徴収されているのか。(周南市・女性) ・地籍がはっきりしていないところも、所有者の興味、関心をそいでいる。意欲のない人は放棄して集約化してはどうか。(下松市・男性) ・地籍の整理に県民税を導入してはどうか。(下松市・男性) ・間伐材を燃料、肥料、割り箸などに利用するために県民税を使ってはどうか。(周南市・女性) ・県民税はなぜ均一に1人500円なのか。所得に比して200円～1,000円にしてはどうか。(周南市・女性) ・税額は一世帯500円と思っていた。1人当たりということを今日まで知らなかった。(周南市・女性) ・年額500円はわずかな金額だが、税金を取らない方向で考えてほしい。安いにこしたことはない。(防府市・男性) 		

やまぐち森林づくり県民税意見交換会での主な意見

開催日時	平成21年7月16日(木曜日)13:30～15:40	会場名	宇部
開催場所	山口県宇部総合庁舎2階大会議室	参加者数	156名
県出席者	(農林水産部) 弘中審議監 (税務課) 金子課長 (森林企画課) 金子主査、松井主任 (森林整備課) 松尾課長 (農林事務所) 村重所長		
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・5年間で税収額と事業費に過不足がでた場合、どうするのか。(宇部市・女性) ・県民税の事業はどのような事業体を実施しているのか。大半が森林組合ではないか。森林組合だけが潤ったということではないか。(山陽小野田市・男性) ・公益森林整備事業でどの程度の雇用の創出があったのか。(山陽小野田市・男性) ・森林整備の大切さはわかるが、県民に増税を求めることは、納得できない。(宇部市・男性) ・森林税を徴収せずに、不要不急の事業を削減して、既存の財源の中で対応すべき。(宇部市・男性) ・事業継続したいのであれば、庶民の負担がかからないように高額所得者や大企業から徴収すべき。(宇部市・男性)。 ・林家の1人として、森林を整備することは賛成する。5年間で効果が上がっている。(美祢市・男性) ・再生竹の処理が不十分。せめて1年に3回程度必要ではないか。有効に活用してほしい。(美祢市・男性) ・間伐事業の自己負担分を県民税で充当できないか。林家としては、放置林をタダで間伐してもらうことは、納得出来ない。(美祢市・男性) ・住宅地近くの森林を整備してほしい。山林といえども、住宅地近くは固定資産税が上昇し、森林を手ばなさざるを得ない。(宇部市・男性) ・県民税事業採択の要件が知りたい。(宇部市・男性) ・水田は国の補助制度の優遇措置があるが、森林にも地域全体で恩恵を受けられるような制度が必要ではないか。(宇部市・男性) ・竹林は20年間で2,000ha増えているが、5年間で430分の現行の事業量では対応できないのでは。(山陽小野田市・男性) ・竹を全伐した時の防災対策は。(山陽小野田市・男性) ・人工林と自然林の保水力の差は。(山陽小野田市・男性) ・資料の中のCO2吸収源対策の表示で、例えば1人息を吐くのに何本の木が必要というような、身近な表記をしてはどうか。(宇部市・男性) ・CO2削減には集約施業が有効と思うが、間伐をした人には、所得税の減税を行うなどしてはどうか。(宇部市・男性) ・手入れがされていない奥山での有害鳥獣対策が出来ない。税事業で間伐をして山に入れるようにしてほしい。(宇部市・男性) ・県民税事業は奥山の人工林の間伐に特化している。里山の整備に対する考え方はいかがか。(宇部市・男性) ・「500円でうまい水が飲める」という感覚で市街地の人も県民税を考えてほしい。(宇部市・男性) ・伐採した後の間伐材を引き取ってもらえない。間伐材の経済効果が発生するように検討してはどうか。(宇部市・女性) 		

やまぐち森林づくり県民税意見交換会での主な意見

開催日時	平成21年7月17日(金曜日)13:30～15:30	会場名	萩
開催場所	山口県萩総合庁舎	参加者数	90名
県出席者	(農林水産部) 弘中審議監 (税 務 課) 金子課長 (森林企画課) 金子主査、松井主任 (森林整備課) 松尾課長 (農林事務所) 藤本森林部長		
<p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・竹繁茂事業の今後の予定を教えてください。(萩市・男性) ・竹繁茂事業施工地の現状はどうか。(萩市・男性) ・笠山(やすらぎの森)の事業内容を教えてください。(萩市・男性) ・森林の多面的な効果として、海に与える効果はどうか。(萩市・女性) ・海岸林の松食い虫被害対策だけでなく、中山間地域での松食い虫被害対策を検討してほしい。(萩市・男性) ・制度創設当初から賛成していた。継続してほしい。(萩市・男性) ・生活に身近な里山から事業を実施してほしい。有害鳥獣対策に苦慮している。(萩市・男性) ・やすらぎの森整備事業を県民の森林くらい大規模に実施してはどうか。事業費は限られているが、2億、3億かけてやってはどうか。(萩市・男性) ・建築基準法等を改正して、地元材を使うようなしくみにしてほしい。(萩市・男性) ・税額を1,000円にしてでも継続してほしい。(萩市・男性) ・簡易な作業道の対応を県民税で検討してほしい。(萩市・男性) ・竹繁茂は4年間の実施では場所によってはよくなる。他県では10年経ったら元に戻っているところがある。検証してほしい。(萩市・男性) ・竹は再生竹除去の3年では厳しいと思う。植栽すれば下刈りをするので、竹がなくなる。検討をお願いしたい。(萩市・男性) ・耕作放棄地に侵入している竹を県民税で伐採できるようにしてほしい。(萩市・男性) ・竹繁茂事業地を早く自然林に戻すために植栽などを検討してほしい。(萩市・男性) ・創設当時は認識していたが、5年経つと自分が500円払っているという意識がなくなっている。PRをしっかりしてほしい。(萩市・男性) ・竹を全伐するのではなく、集落で楽しめるような竹林の整備を行ってはどうか。(萩市・男性) ・国はエコ対策に減税措置を行っている。森林のもつ社会的価値を認識した対策をしてほしい。(萩市・男性) ・不在村地主の竹やぶの整備はできないか。(萩市・男性) ・年額500円で現状を再生出来とは思えない。竹はひどい。増額して継続すべきでは。(萩市・男性) ・林家等の農閑期に(専門)ボランティア活動として、地元雇用してはどうか。(萩市・男性) ・地積調査があり何十年ぶりかで山に入ったが、所有者がわからず難儀した。県、市を挙げて県民税に取り組んで頂きたい。また、ボランティア活動の情報提供を頂きたい。(萩市・女性) 			

やまぐち森林づくり県民税意見交換会での主な意見

開催日時	平成21年7月22日(水曜日)13:30～15:30	会場名	柳井
開催場所	山口県柳井総合庁舎2階大会議室	参加者数	101名
県出席者	(農林水産部) 弘中審議監 (税務課) 金子課長 (森林企画課) 金子主査、松井主任 (森林整備課) 赤川主幹 (農林事務所) 北野所長		
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・竹の利活用として、農業用の土壌や肥料等の研究をしてほしい。(周防大島町・男性) ・竹を原料とするバイオマス発電施設を作してほしい。(周防大島町・男性) ・周防大島地域での竹繁茂対策事業の実績はいかがか。(周防大島町・男性) ・竹粉末は、田畑に効果があるのか。(柳井市・男性) ・竹炭を入浴剤として利用してはいかがか。(柳井市・男性) ・意見交換会に参加して森林に対する考え方、見方、行動を考えさせられた。(柳井市・女性) ・竹ハシのリサイクルを環境問題として考えている。日本には酒樽から醤油樽、味噌樽へリサイクルする歴史がある。(柳井市・女性) ・山を大切に守っている後継者に対して、手をさしのべる方法はないか。(柳井市・女性) ・竹を切してほしいと、多くの人が望んでいる。竹繁茂対策事業のことは知らなかった。事業の周知をしてほしい。(柳井市・女性) ・竹の根が畑まで迫っている。予防するためには畑にどのくらいの深さのよう壁で対応したらいいか。(柳井市・女性) ・雇用対策で竹林を切れないか。(周防大島町・男性) ・広域農道隣接地の竹を試験的に全伐して事業の相乗効果を図ってはどうか。(柳井市・男性) ・竹を切りたい人がどうやったら対応してもらえるか、手続きの方法を知らない。(柳井市・女性) ・500円の税がどのような使われ方をしているか、知らない人がほとんどではないか。(柳井市・女性) ・事業がどの程度進んでいるか一般の人にも分かるようにしてほしい。(柳井市・女性) ・モデル林事業地を記述した資料を作成してはどうか。(柳井市・女性) ・萩とか美祿で竹製品を作っているとのことだが、原材料として斡旋、助成してもらえないか。(周防大島町・男性) ・竹はバイオマスの材料として堅いとこのことであるが、チップにして運搬する方法を考えてほしい。(周防大島町・男性) ・不在村地主への山の大切さ、土地を守ることの大切さを伝えてほしい。(柳井市・女性) ・山林所有者の意識が足りない。(柳井市・女性) ・山梨県では竹パウダーを肥料にしていると聞いたが、竹チップパーを有効活用出来るようにしてほしい。(柳井市・女性) ・山の里下り(耕作放棄地)ということを知っているが、早めに手を打たなければいけないという意識啓発をしっかりとってもらいたい。(柳井市・女性) 		

やまぐち森林づくり県民税意見交換会での主な意見

開催日時	平成21年7月23日(木曜日)13:30～15:40	会場名	長門
開催場所	ルネッサながと軽運動室	参加者数	83名
県出席者	(農林水産部) 弘中審議監 (税務課) 金子課長 (森林企画課) 江藤調整監、沖原主幹、宮崎主任 (森林整備課) 赤川主幹 (農林事務所) 奥原所長		
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・映像等を使った解りやすい説明だった。県民税のことはよく解った。奥山はよく解らないが、里山が荒廃している。自分たちもやらなければならないが、県民税を続けてやってほしい。(長門市・男性) ・事業をどういう所へ、どのくらい発注されたか。(長門市・男性) ・災害もあって裏山を整備したい。このような場合、県民税で対応が出来るか。他の方法での整備の仕方はあるか。(長門市・男性) ・竹林整備の要望に対する対応はどの程度充たされているのか。要望が多い場合には山を維持するためには個人負担を取ってでも山を守る対策を取るべきでは。(長門市・男性) ・シカ、イノシシ、サル対策、搬出間伐に県民税を充当できないか。(長門市・男性) ・荒廃森林が海に与える影響はどうか。(長門市・女性) ・間伐材を棚積みにして放置しているが、棚積みする経費を事業に使えないか。(長門市・男性) ・保全した田の周囲に人工林があるため、その辺りにシカ、イノシシの被害が集中している。県民税を充当できないか。(下関市・男性) ・大寧寺の奥に保安水源林があるが、樹齢23年で県民税事業の対象にならない。水源かん養という意味で対象を考えてほしい。(長門市・男性) ・しい、どんぐりなどの雑木にも目を向けて餌を造ってやらないと、鳥獣被害対策は出来ない。(長門市・男性) ・公園整備は森林とは関係ない。とんでもないこと。やってはいけなない。(長門市・男性) ・ヒノキの品種が劣化している。苗100本で4～5本しかいい木が育たない。森林が荒廃しているのではない。人が手を入れるから荒廃している。ほったらかしが一番。(長門市・男性) ・税が人件費になるのではないかと心配している。(長門市・男性) ・5年、10年ではなく続けてほしい。また後継者対策も考えてほしい。(宇部市・男性) ・集約林業は県民税対象事業だが、頑張っている人には所得税の軽減をしてほしい(宇部市・男性) ・リーフレットの吸収源対策の表記を解りやすくしてほしい。(宇部市・男性) ・5年間の県民税事業で県内の人工林のどのくらいを実施したのか。ピンポイントではないか。気の長い事業とは思うが、実績はどうか。(長門市・男性) ・魚つき保安林の整備に当たって、肥培的対策も必要ではないか。(長門市・男性) ・森林整備の県民税事業の単価が高い。整備しすぎ。もうちょっと荒でいい。(長門市・男性) ・他県の税額を聞きたい。高い県と安い県、参考までに聞きたい。(長門市・男性) ・22年度以降の対応をどうするのが今回の意見交換会の目的と思うが、是非継続してほしい。(長門市・男性) 		

やまぐち森林づくり県民税意見交換会での主な意見

開催日時	平成21年7月24日(金曜日)13:30～15:30	会場名	岩国
開催場所	山口県岩国総合庁舎1階入札会議室	参加者数	83名
県出席者	(農林水産部) 弘中審議監 (税務課) 平川調整監 (森林企画課) 江藤調整監、金子主査、松井主任 (森林整備課) 赤川主幹 (農林事務所) 福永所長		
主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ・説明の中で4つのハード事業と1つのソフト事業、大変効果を上げている。竹は3年切ったら絶えるか。自分の経験上難しいと思うが、実際に見たいが、どこへ行ったらいいか。(岩国市・男性) ・森林の整備は大切であるので、継続してほしい。(岩国市・男性) ・戦後、竹藪退治をしたが、その後の評価をしなかったから今の状態になった。税事業も5年、10年、50年後も評価をしてもらいたい。(岩国市・男性) ・荒廃した森林、繁茂した竹林を整備しなければ大変危険な状態であることが理解できた。7月21日発生のも水源地かん涵養機能が果たされていけば災害は小さかったのではないか。継続のための早急な計画を元に行うしてほしい。(岩国市・男性) ・県の森林計画量を示して事業を進め、住民の安心・安全を守ってほしい。(岩国市・男性) ・税の徴収に実感が無い。使途に関心がない人が多いと思う。人工降雨装置を使って効果を数値で示すことはいいこと。テレビ、新聞等で周知を図ってもらいたい。(岩国市・女性) ・今後、事業をどのくらい続けたいのか、数値目標を知りたい。(岩国市・女性) ・500円で今後出来るのか、上げるのか、下げるのか、何年やるのか。数値を示してほしい。(岩国市・女性) ・竹の有効利用が出来ないか、研究してほしい。(岩国市・女性) ・整備された森林・竹林を維持するには人手がいる。ボランティアの力を借りて維持していくのが必要なことではないか。(岩国市・女性) ・継続を前提とした、既成事実化の説明に感じた。(岩国市・男性) ・経済波及効果38億円、雇用創出10万人・日。いささか、首をかしげる。(岩国市・男性) ・県の協議会で技術の共有化、合理化を図り、伐採を効率的に行う。あるいは単価を下げっていくようにしたいと思う。(岩国市・男性) ・防府の災害は間伐による被害ではないかと、一部で言われているが。(岩国市・男性) ・経済林ばかりの追求だけでなく、広葉樹の植栽はどうか。(岩国市・男性) ・CO2対策は消費を押さえることが大事であり、CO2を削減するよりも、地産・地消によってもたらす効果の方が大きいのではないか。(岩国市・男性) ・県民税で事業をするよりも、補助事業のほうがいいのか。杉花粉対策にもなる。(岩国市・男性) ・県民税を続けたいなら、続けるための施策目標をもってやらなければ何にもならない。(岩国市・男性) ・県民一律の税を特定の者だけが恩恵を受けている。(岩国市・男性) ・40パーセント強度間伐をしたら山が崩れる可能性が高い。(岩国市・男性) ・説明、数値化のための検証、関心した。県民によくPRしてほしい。(岩国市・男性) ・間伐材の利用は説明になかった。今後は再生可能な資源として森林の整備・管理をしてはどうか。(岩国市・男性) ・今後とも継続してほしい。個人と法人の税割合はどうか。事業効果で想定は出来るが、1年間でどのくらいの割合を実施しているのか。現実の効果を面積としてとらえると、100年以上かかるのでは。(岩国市・男性) ・ボランティア活動への助成の考え方は。(岩国市・男性) ・吸収源対策として県民税導入に興味を持っていた。有効に働いていると思う。(和木町・男性) ・20年間伐採制限がかかっているが、20年以内に有効活用することは出来ないか。(和木町・男性) 		